

2002年12月17日（火）、サン・パウロ州カルドーズ市のカルドーズ慈善病院において、我が国草の根無償資金協力の機材引渡式が挙行され、ジョゼ・ダ・シルバ・グエデス・サンパウロ州保健局長、ジョアン・ダ・ブラマ・デ・オリベイラ・ダ・シルバ・カルドーズ市長、マリオ・ジョゼ・フェレイラ・デ・ソウザ・レアル・カルドーズ慈善病院院長、当館から佐藤宗一首席領事他が出席しました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「カルドーズ慈善病院眼科用医療機材導入計画」

被供与団体：カルドーズ「レノール・メンデス・ジ・バホス」慈善病院

契約署名日：2002年11月5日

供与限度額：53,440米ドル

案件概要：カルドーズ慈善病院は、サンパウロ州北部のカルドーズ市に所在する慈善病院ですが、周辺約50の市町村の中で唯一眼科の診療を行っていることから、市内だけでなく周辺の市町村からも眼科患者が来院します。

ブラジルでは近年、糖尿病性網膜症（糖尿病による失明）が増加していますが、これを防ぐためには早期の診断と治療が不可欠です。

今般の協力は、同病院が購入する眼科用レーザー医療機材の費用として、53,440米ドルを無償提供したもので、従来はサン・ジョゼ・ド・ヒオ・プレットまで通院が必要だった眼科のレーザー治療が、今後は同病院で行われ、これによりカルドーズ市及びその周辺の約50万人が裨益することになります。



挨拶する佐藤首席領事



購入されたガン科用レーザー医療機材